

オプション検査

肥満遺伝子検査



肥満遺伝子と体質の関係

肥満遺伝子の異常(リスク型)の場合、通常よりも基礎代謝が落ちたり、筋肉がつきにくくなることから体に脂肪が付きやすいとされています。

また近年の研究では、肥満遺伝子には食べ物の嗜好にも大きく影響するものがあることがわかっています。これらのことから、肥満遺伝子について検査することは自身の”肥満体質”を知るひとつの手段であると言えます。

代謝に関する遺伝子タイプは5つから判定

洋ナシ型

脂質代謝が苦手なタイプ。
皮下脂肪が付きやすく、
下半身が太りやすい体質

リンゴ型

糖質代謝が苦手なタイプ。
内臓脂肪が付きやすく、
お腹が出やすい体質

バナナ型

筋肉がつきにくいタイプ。
ほっそり体型になりやすいが、
一度太ると痩せにくい体質

ミックス型

脂質と糖質の代謝が苦手な上に、筋肉が
つきにくいタイプ。皮下脂肪も内臓脂肪も
つきやすく、一度太ると痩せにくい体質

アダム・イブ型

肥満体質遺伝子が全てリスク型ではない
タイプ。食生活などの生活習慣が大きく
関わる体質

検査は簡単!
口の中の粘膜を採取するだけ

【料金】 6,500円(税別)